

講座参加者の声

公民館では年間を通してさまざまな主催講座が行われています。
今年5月～6月に実施した講座に参加された方々に、感想を寄せていただきました。講座の雰囲気を味わっていただければと思います。

4歳になる娘はブロック遊びやビー玉コースターが大好きです。そのため「ピタゴラスコース」という講座名に惹かれて、この体験型講座に参加しました。講師は教育学が専門の山田修平先生でした。参加者は5組の家族で、未就学児から小学校低学年のお子さんが多い印象でした。今回参加者が体験したのは、子どもたちが自由に、カーブや直線のルールをつなげ、



講師の山田修平さん

親子が楽しめ、学びも多い親子講座
―「親子で遊ぼう・考えよう」ころころピタゴラスコースを作って遊ぼう―を受講して―
西尾 直子

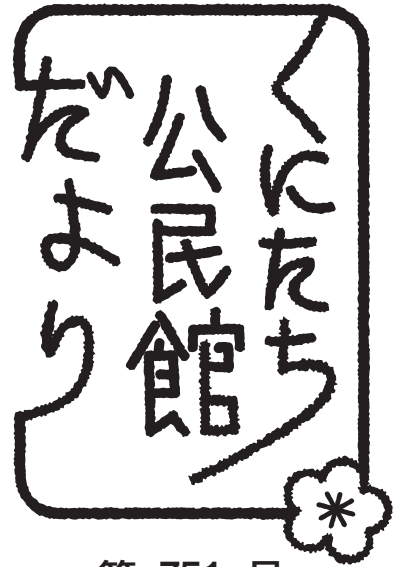
ピンポン玉くらいのボールが転がる傾斜のあるコース作りです。講座の前半は練習も兼ねて参加者全員で一つの単純なコースを作り、後半は各家庭が自由にコースを作るといふ流れでした。娘にとっては、保育園とは違う同世代の友達と楽しく遊ぶ良い機会になったと感じています。子どもたちがコースづくりに熱中している傍ら、山田先生から保護者向けに様々な教育に関するお話がありました。その中でも「遊びの中で、子ども自身にゲームのルールやゴール、課題を設定させたほうが良い」というものが印象に残っています。この経験をさせると「非認知能力」と呼ばれる将

来の幸福度につながる能力が育まれることが知られているそうです。そして今の子どもたちは、昔よりもその機会が少なくなっているそうです。確かに、テレビゲームなどの遊びでも学校の勉強でも、他人から与えられたルールやゴールに向かって作業する機会が多くなりがち印象です。また、自身と娘とのことを思い返してみると、一緒に遊んでいるときに、こうした上手いくくなど、親の考えるゴールに向かって誘導してしました。この話を聞いてからは、そんな自分を反省するとともに、娘の幸せを願いながら「自分で決めてみてごらん」と言ってみるよう



うまく転がるかな？

講座の2時間はあっという間に過ぎ、親子で楽しめ、学びも多かった。終始みんな笑顔でとても良い雰囲気を作ってくださいました先生には大変感謝しております。
(2022年5月29開催)



第 751 号

2022年 9月 5日

(令和 4年)

「くにたち公民館だより」
ホームページのQRコード▶



発行

国立市公民館

〒186-0004

国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日

今月の公民館 (9月～10月中旬)

8日(木)夜 ブッククラブ 宇佐見りん『かか』

17日(土)昼 図書室のつどい『裁判官のつぶやき』

18日(日)昼 版画をつくってみよう!

～プレス機体験ワークショップ

25日(日)昼 シネボックス CINEVOX『近松物語』

30日(金)昼～「書く」ワークショップ

「心のままに、思いを綴る～“自分”を書いてみよう～」

10月18日(火)夜 ★自治と民主主義を学ぶ

「地域で社会問題を解決する方法

～コミュニティ・オーガナイズング入門～」

21日(金)夜 図書室のつどい

「目の見えない白鳥さんとアートを見にいこう」

★はオンライン受講可能な講座です。

講座の開催状況などに変更があった場合は、公民館入り口付近への掲示や、ホームページでお知らせします。ご不明の点はお問合せください。



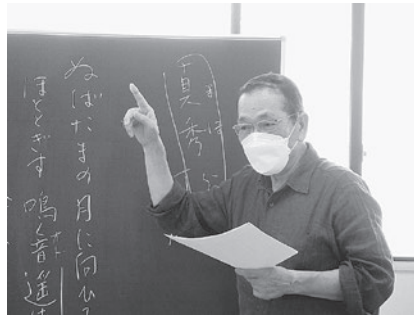
公民館 ☎ (572) 5141

公民館の状況▲

『万葉集』発見の喜び
—「古典講座『万葉集』を読む」を受講して—

平子 友長

水島英己先生による「『万葉集』を読む」連続講義に初めて参加させていただきました。大変貴重な勉強をさせていただきました。紙数が限られておりますので、私が新たに勉強させていただいた論点に絞って報告させていただきます。



講師の水島英己さん

講義のなかでは、『万葉集』編者大伴家持と彼が生きた時代背景について詳しく教えていただきました。大伴氏は、武烈以降四代の天皇に仕えた大伴金村を始祖として、朝廷の軍事指導者を輩出してきた家柄でした。代々「ますらをの職」として朝廷を支えてきた名門貴族大伴氏が、家持の時代には藤原不比等以降台頭する新興貴

族藤原氏の権勢に次第に圧倒されてゆきます。家持最後の長歌「族を諭す歌」(四四六五)は、「君の御代御代 隠さはぬ 明き心をすめら辺に 極め尽して 仕へ来る 祖の職と 言立てて」「祖の名絶つな 大伴の 氏と名に負へる ますらをの伴」と歌い上げます。この長歌からは、名門貴族の出自に対する高い矜持と大伴家の没落を食い止めようとする悲痛な覚悟が聞こえてきます。

『万葉集』に多数収録されている「防人の歌」には、難波で防人の管理を担当した家持自身の「ますらを」の長としての心情が防人を主語として歌いこまれていることも、今回初めて勉強させていただきました。防人の情と為りて作る「長歌(四三九八)で「大君の命恐み 妻別れ 悲しくはあれど ますらをの 心振り起し 取り装ひ 門出をすれば」と防人に歌わせています。太平洋戦争時に玉碎報道の冒頭に流された「海行かば」の歌詞は、家持の長歌「出金詔書」(四〇九四)の文脈では、「大伴の 遠つかむおやの 其の



『万葉集』を丁寧に味わいました

名をば おほくめぬしと おひ持ちて 仕へしつかさ」の直後に置かれ、歌の後には「人の子は おやの名絶たず 大君にまつるふもの」と続きます。この「海行かば」は、まさに武門の名門大伴氏の栄光の歴史を継承する決意を歌い上げた歌でした。

五回の講義ではもちろん家持の長歌短歌の秀作の解説に主要な時間が割かれたことは、いうまでもありません。その意味では、私の感想は個人的関心にひきつけすぎたきらいがあります。しかし限られた紙数でごく一般的な感想を述べるよりも、生涯忘れないであろう『万葉集』発見の感動をお伝えしたほうがよいと考えた次第です。この場をお借りして、水島英己先生に心から感謝の気持ちを表明させていただきます。

(2022年5月27日・6月3日・10日・17日・24日開催)

〈シニア世代対象／「書く」ワークショップ〉
心のままに、思いを綴る～“自分”を書いてみよう～



講師 大塚 敦子 (ジャーナリスト、ノンフィクション・写真絵本作家)

毎日を過ごすなかでふと、私はこれまでどんな人生を歩んできたのだろう、と立ち止まることはありませんか。今回は、様々な場所で「心のライティング」(書くことで自分を知り、よりよく生きる糧とすること)のワークショップを実践されている大塚さんを講師に、人生のさまざまな経験を見つめ、言葉にしていきます。書くことは自分のほんとうの気持ちに気づく助けになります。また、一人ではなくグループで書くことで、多様な価値観を知り、世界を広げてみましょう。書いたものを他の人と共有するかどうかは自由ですので、気楽にご参加ください。

- 第1回 「お互いを知り合う」
とき 9月30日(金)
- 第2回 「自分の人生を振り返る」
とき 10月7日(金)

- 第3回 「自分を知る(1)」
とき 10月14日(金)
 - 第4回 「自分を知る(2)」
とき 10月21日(金)
 - 第5回 「自分を知る(3)」
とき 10月28日(金)
 - 第6回 「そして、これから」
とき 11月4日(金)
- 時間 すべて昼2時～4時 全6回
場所 公民館 3階集会室(10/28、11/4のみ音楽室)
定員 12名 対象 シニア世代の方
持ち物 ノート、ペン
申込先 9月9日(金)朝9時～ 公民館 ☎(572) 5 1 4 1



〈図書室のつどい〉

目の見えない白鳥さんとアートを見にいく

お 話 川内 有緒 (ノンフィクション作家)
白鳥 建二 (全盲の美術鑑賞者・写真家)

「なにが見えるか教えてください。」白鳥さんのその一言で美術鑑賞が始まります。

白鳥さんは全盲の美術鑑賞者で、年に何十回も美術館に足を運びます。著者の川内さんは、友人の紹介から白鳥さんと出会い、ともに各地の美術館等を巡るようになりました。

〈川内さんの本〉

表題作 (集英社インターナショナル)、『パウルを探して完全版』(三輪舎)、『空をゆく巨人』(集英社) ほか

と き 10月21日(金)夜7時~9時
ところ 公民館 地下ホール
定 員 40名(申込先着順)
申込先 9月16日(金)朝9時~
公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

〈図書室のつどい〉

裁判官のつぶやき

お 話 門口 正人 (元名古屋高等裁判所長官)

裁判官として所長や長官を歴任された門口さんは、かつて「余分なものは書くべきではない」と諭され、書くものといえば裁判関係文書ばかりだったそうです。

門口さんのお話から、私たちがふだん知る機会のない裁判官の「横顔」に触れてみませんか。

〈門口さんからのメッセージ〉

これまで、身近な裁判所、分かりやすい裁判を目指したお話をしてきましたが、公民館からお声をかけられるのは初めてで正直驚きました。

〈門口さんの本〉

表題作 (法曹会)、『裁判官 フランスを歩くーフランスの社会・司法事情』(青木書院) ほか

と き 9月17日(土)昼2時~4時
ところ 公民館 地下ホール
定 員 40名(申込先着順)
申込先 9月7日(水)朝9時~公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

版画をつくってみよう! —プレス機体験ワークショップ

プレス機を使って、本格的な版画を体験してみませんか? 紙の版(ドライポイントプレート)とプレス機を使って版画を作ります。

講 師 タダ ジュン (イラストレーター・版画家)
さかた きよこ (版画家)
山本 佳奈枝 (版画家)

と き 9月18日(日)昼1時~4時
第1部 昼1時~2時半
第2部 昼2時半~4時
ところ 公民館 1階市民交流ロビー
定 員 20名程度(各部10名程度)
申込先着順・2部入替制
申込先 9月8日(木)朝9時~
公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

材料費 300円
持ち物 エプロン(よごれてもよい服装)、
ハガキサイズぐらいの下絵(なくても可)



※所要時間は1時間程度です。定員を超えた場合は、締め切らせていただきます。

同時開催!

「はじめての銅版画」展

創作講座「はじめての銅版画—Etching Work Shop—」の作品展を行います。



過去の展示の様子

と き 9月13日(火)~
18日(日)昼2時まで
ところ 公民館 1階市民交流ロビー
問合せ 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1



監督 溝口健二 原作 近松門左衛門
劇作 川口松太郎 脚本 依田義賢 撮影 宮川一夫
出演 長谷川一夫、香川京子、南田洋子、進藤英太郎、
小沢栄太郎、浪花千栄子、田中春男 ほか

近松門左衛門の「大経師昔暦」を巨匠・溝口健二が映画化。周囲の誤解から不義密通の罪を着せられてしまった男女がやがて本当に惹かれ合うようになり、愛を全うして、最後は刑場へ引かれていくという物語を、溝口は、ひたすら美しく情熱的に描き切り、自身の代表作の一つとした。主演の長谷川一夫、香川京子も、溝口の要求に応え、まさに一世一代、渾身の熱演を見せた。



とき 9月25日(日) 昼2時～(開場昼1時)
ところ 公民館 地下ホール
定員 50名(申込先着順)
申込先 9月14日(水) 朝9時～
公民館 ☎ (572) 5141

*事前申し込み制となっています。必ず電話もしくは窓口にて事前にお申し込みください。
*新型コロナウイルス感染症予防のため、途中で10分程度、換気のため休憩を設けます。ご了承ください。

公民館運営審議会報告
8月9日(火) 第33期第22回定例会を開催。委員14名、館長、職員2名出席。傍聴人2名。
前回事務録確認
○若干の修正を確認した。
報告事項
○公民館だより編集研究委員会、社会教育委員の会、東京都公民館連絡協議会に関する報告があった。
協議事項
○2021年度事業・決算報告については、次回報告となった。
○「新型コロナウイルス感染拡大時における教育機関としての公民館事業について」の答申に向けて、答申一次案の検討を行った。前回定例会での意見や7月27日の班長会議で出された意見等を共有した



(鶴田)

後、答申一次案について、前回から変更した点などを中心に、記録班、アンケート班、学習会班、検証班から説明があった。検証・提言・文案執筆班から文書と口頭により進捗状況や懸案事項などの報告があり、意見交換が行われた。
○職員体制充実等に向けた2022年度要望に向けて、内容・時期の案が示され、次回以降継続審議。次回9月13日(火)夜7時15分から地下ホール。感染症予防の上、傍聴歓迎。

オンライン
受講可能

〈自治と民主主義を学ぶ〉

地域で社会問題を解決する方法

～コミュニティ・オーガナイズング入門～

講師 藤井 敦史 (立教大学)

私たちの社会では、コロナ禍によって深刻化した社会的孤立などの様々な社会問題や地域課題に、多くのNPOや市民活動が実践を展開しています。そこでは民主主義の主体である市民自身がパワーを取り戻し、自ら政治や実践に参加して、共同・協働することが求められています。

そこで今回は、社会問題解決の手法＝「コミュニティ・オーガナイズング」の考え方を学びます。「社会を変える」とは大それたことではなく、私たちの日々の暮らしを豊かにし、自分自身の生き方を捉え直すことから始まります。まずはこの小さな学びの場に参加してみませんか。

〈藤井さんの本〉

共訳書『社会はこうやって変える！ーコミュニティ・オーガナイズング入門』(法律文化社)、編著書『社会的連帯経済ー地域で社会のつながりをつくり直す』(彩流社)など

とき 10月18日(火) 夜7時～9時
ところ 公民館 3階講座室
定員 会場：25名 オンライン：20名(申込先着順)
申込先 9月13日(火) 朝9時～10月16日(日) 夕5時まで
会場受講：公民館 ☎ (572) 5141
オンライン受講：sec_kominkan@kunitachi.city.lg.jp
オンライン受講申込みメールに以下を明記ください。

件名：10/18「地域で社会問題を解決する方法」申込
本文：①氏名 ②ふりがな ③住所 ④電話番号
※当日、参加者側の環境における音声・映像の不具合のお問い合わせには対応できません。ご了承ください。

〈くにたちブッククラブ 感傷から遠く離れて〉

宇佐見りん『かか』

(河出文庫)

講師 内藤 千珠子
(大妻女子大学・近現代日本語文学)

とき 9月8日(木) 夜7時半～9時半
ところ 公民館 地下ホール
定員 30名(今年度すでに申込済の方は申込不要です。)
申込先 公民館 ☎ (572) 5141

*この講座はあらかじめ作品を読んできて、参加者が「読み」を出しあいます。そのあと講師のお話を聞きます。

公民館へご来館の際のお願い

- ・自宅で検温してからお越しください。
- ・マスクの着用と手指の消毒にご協力ください。
- ・会場はこまめに換気してください。

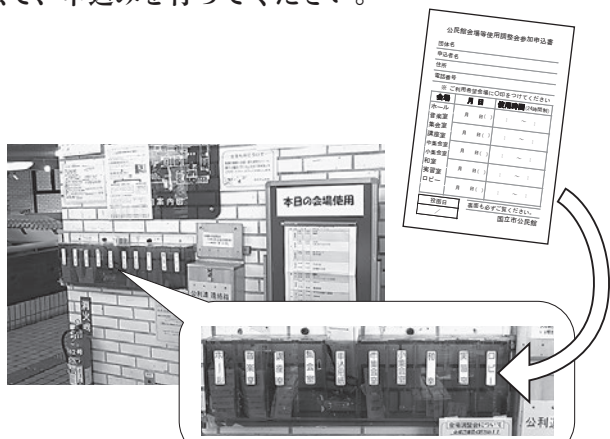
—公民館の会場予約のご案内—

公民館の会場をより多くの団体が利用できるよう、事前に会場調整の機会を設けています。引き続き、感染予防対策のため、ご協力をお願いいたします。

11月～2月（ロビーは12月～3月）の利用希望は以下の方法で、申込みを行ってください。

★「公民館会場等使用調整会参加申込書」の提出

公民館1階入口正面の会場別ポストに「参加申込書」を入れてください。
ポスト投入期間は、以下の表(■今後の会場調整会日程)のとおりです。



申込みに重なりがあった団体へのお知らせ

以下の表の日程で、会場別ポスト付近に団体名を掲示します。公民館のホームページでもお知らせします。



「参加申込書」は、入口正面にあるポストに投入してください。

▲QRコードからもご確認いただけます。

掲示のあった団体 …会場調整会への参加

調整会へは、1団体1名、第1希望が取れなかった場合の別の候補日や会場を想定して、最終的な判断ができる方がご参加ください。(開始時間に遅れたり、不参加の場合は、使用希望は消しとなります。)

掲示のなかった団体

会場調整会翌日以降
2階事務室へ本申込みにお越しください。
(会場調整会当日は、本申込みはできません。)

★「参加申込書」を提出していない団体の予約方法

- ・ 2階事務室での受付…調整会当日の午後2時～
 - ・ 電話での仮予約…調整会当日の午後3時～
- ※受付時間:午前9時～午後5時(月曜、祝日、年末年始を除く)

* 詳細や不明な点は、公民館までお問合せください。
* 会場調整会は、公民館利用者連絡会のご協力により実施しています。

公民館 ☎ (572) 5141

■今後の会場調整会日程

(※いずれも午前10時～)

使用希望月(ロビー)	申込書のポスト投入期間	重なり団体の掲示日	※会場調整会
11月(12月)	9月3日(土)～9月21日(水)	9月23日(金)～	10月1日(土)
12月(1月)	10月1日(土)～10月27日(木)	10月29日(土)～	11月5日(土)
1月(2月)	11月5日(土)～11月24日(木)	11月26日(土)～	12月3日(土)
2月(3月)	12月3日(土)～12月22日(木)	12月24日(土)～	1月7日(土)

ひろば



今年も赤トンボの季節が(矢川)

撮影 和賀 一さん
(フォトサークルくにたち)

国立カラオケ愛好会会員募集

歌好きの仲間達があなたのご入会をお待ちしております。プロ講師の指導により、発声法の基礎から月一曲を仕上げ唄える喜びを一緒に楽しみましょう。見学自由
日時 第2、第4火曜日 昼1時
場所 公民館 音楽室
連絡先 鈿持(576) 2495

平日のんびりテニスを!

1面2時間、月2回程度。少人数でテニスを楽しんでいます。できれば60才位までの方。七転び八起きがモットーの「たるま会」。コートでの新しい出会いが始まります。
日時 平日 月2回程度
場所 谷保のテニスコート
連絡先 上林(577) 2806

くにたち市民合唱団員募集

コロナ感染対策を徹底して、ベーターヴェンにも絶賛されたケルビーニのレクイエム・ハ短調を歌いませんか。月3回練習で2千5百円。9月は7日・14日・21日です。
日時 水曜日 夜6時半〜9時
場所 くにたち福祉会館4階
連絡先 高橋(574) 7071

数学を楽しむ集い(9月期)

コンピュータを作った数学者や三角形の面積公式のお話をします。数学にかかわる意外な事実が分かります。どなたでも気軽にお越しください。参加の方は、お電話を。
日時 9月17日(土)24日(土)昼1時
場所 公民館 集会室
連絡先 山本(572) 1028

くにたち国際友好会WING

9月の国際理解講座は、JICA専門家家でNPO法人副理事長の角井信弘さんにナイジェリアのお話をZoomでして頂きます。会場でも視聴可能。要事前登録。
日時 9月22日(木)夜7時〜9時
場所 公民館中集会室&Zoom
連絡先 西江(9020) 7838

シニアスイミング参加者募集

令和4年度シニアスポーツ振興事業。さあ、楽しくレッスンしましょう。ゆっくりペースで泳ぎの基本から、公認指導員が担当します。参加費無料。
日時 9月28日(水)より計6回
場所 市民総合体育館室内プール
連絡先 堀(9848) 4678

くにたち市民オーケストラ 第44回定期演奏会

ヴェルディ「ナブッコ」序曲グリークピアノ協奏曲ブルックナー交響曲第4番 指揮和田一樹ピアノ 富永愛子 千円、高校生以下無料。
日時 10月2日(日) 昼2時開演
場所 府中の森芸術劇場
連絡先 事務局(545) 9292

ジュニアソフトテニス講習会

プロコーチによる初心者から上級者までレベルに応じたレッスンです。ソフトテニス連盟。対象者中学生、高校生。参加費無料。
申込締切9月25日(日)
日時 10月9日(日)9時〜予備16日
場所 広場テニスコート
連絡先 平野(576) 7815

「ひろば」欄投稿規定

市内の団体・グループ活動のお知らせの場です。原稿の締切りは掲載希望月の前月7日午後5時です。会員募集は6カ月に一回掲載することができ、紙面の都合により翌月掲載となることがありますので、ご了承ください。ファックスでの提出も可能です。

「ひろば」写真募集中

国立の風景や行事、自然などの写真を募集しています。ご協力いただける方は公民館までご連絡ください。

「サークル訪問371」 やさしい英会話

「やさしい英会話」は、国立市に転入された代表の三好洋子さんが、2013年に地域の方たちと楽しく英会話を学ぶ場を作りたいと立ち上げたサークルである。初めは少人数だったが、現在は13名で時間帯で2つのグループに分かれ、昼2時からの①はテキストも使って文法なども学びながら会話を楽しくグループ②はフリートーク中心のグループで活動している。私が訪問した日は月に2回の外国人講師が来る日。最初の①のクラスから参加させてもらったが、最初にイギリス人のスチュアートさんが「コンビニに百均のコーナーができた」という話題をとんでもわかりやすい英語で投げかけると「私も見ました」「何か買いましたか」など会員の皆さんが英語で返す。ひとしきり英会話のキャッチボールが弾むと次は参加者一人一人が準備してきたトピックを英語で話す。内容は趣味の俳句のこと、梅酒を漬けたこと、財布を失くしたことなど日常生活の身近な話題。一人が話し終えるとスチュアートさんや他の会員が質問したり、関連する自分の体験を話したりで盛り上がる。言葉が出てこなかったり通じなかったりすると、

三好さんが助け舟を出す。英語で表現できなくて「日本語で言っちゃうと……」と言う人がいると別の会員が「No.1」で英語で話すように励ます場面もあった。「少しづつでも英語が話せるように、聞けるようになってきたことがうれしい」「フリートークの話題が多様で、語学の習得だけでなく多くの情報が得られる」「洋画を吹き替えではなく字幕で見るようになった」など、皆さんこの時間を心から楽しんでおられるようだ。英語の勉強という学生時代の受験英語を思い出し辛い気持ちになる方も多いかもしれないが、こんな大人の学びの時間は人生を豊かにしてくれると感じた。

2年前コロナ感染拡大で入会希望の方たちをお断りせざるを得なかったが、現在は受け入れ可能だそうだ。興味のある方はご連絡を。
日時 毎週火①昼2時②3時半
場所 公民館
連絡先 三好(848) 4632
〈文・写真 池田 祐子〉



英会話のキャッチボールが弾む